

# たんぽぽ だより

2004年4月・5月 NO17

日本共産党 川西市議会議員

黒田みち

市政にたいする要望・ご意見をお寄せください。

日本共産党川西市議会議室 電話740-1111 (内線4020) FAX 759-1811

みんなが  
住んでよかつた  
と思える川西市に・・・  
くらし・福祉・  
教育最優先の市政めざして

春の色があふれかえる季節になりました。

陽の輝きの中、いかがお過ごしでしょうか？

いつまで我慢しますか  
市民負担増！  
市民負担増！



「川西市はいったい何にお金をつかってるんや？」

こんなに頑張ってくらしているのに。針・灸のチケットなくなるとか、敬老祝金なくなるとか・・・下水道のあがり方は何やねん？！税金ちゃんと払ってるやろ！」

4月1日臨時議会が終わってすぐに、お怒りの電話を頂きました。行政・自治体の仕事は市民福祉の向上です。それなのに、4月から値上げラッシュが続きます。

皮革工場の下水道料金6488万円は市が負担してあげているのに、汚水処理費5億7千万円は市が負担してあげるのに、**市民には平均25%の値上げ**で1年間で**3億5580万円の負担増**です。

今、上水道の審議会が開かれていますが、きっと値上げ案・・・ごみの有料化の答申の中身は、市民に**粗大ごみ1Kg30円負担**してもらおうというもの。(事業系ごみは1Kg5円ですって)今年度具体的に計画されます。

補助金のカット、文化・芸術・体育施設の使用料値上げ等、職員の定数減人件費削減等々、市民サービスの低下や負担増ばかり・・・これが行政SR作戦の中身(7億2千万円分)です。

知っていますか？



# 声をあげましょう！ 命を守る事にこだわろう

自治体は開発会社ではありません。

真の行政の仕事は住んでいる人々の命と

暮らしを守り、支えること。正直に生きて

いる庶民が幸せになる街づくりのために

声をあげ続けなければ！「人間らしく生

きていくこと」ぜひ一緒に行動しま

せんか？！

ぜひ、新聞「赤旗」ごらん下さい。

1ヶ月2900円(日刊紙)

800円(日曜版)申し込み

黒田みちまで

広域ごみ処理施設組合議会で土地を買う予算が通過・・・

環境アセスも終わっていない土地、施設計画もできていないのに。

どうしてあせって買う必要があるのでしょうか？鉱毒の心配、逆転層

の問題、動植物の保護や文化財の事、何も解決していないのに急ぐ必要は何？

どうして予定の3倍の土地を買ってあげるのでしょうか？

600m離れた土地がありますか？

今にもつぶれると言っていた南部焼却場で豊能・鹿野のごみを焼く事が3月議会で明らかになりました。(いつも市民は後回し)

豊能町と池田市の合併協議会が発足する事が議会で決まっています。

今、私達は、川西市のお金の使い方を改めさせなければなりません。

受益者負担とか税の公平化とか、さもごもっともと言われる事を言いますが実のところ、庶民には負担ばかりという構図をつくっています。

こどもからお年寄りまで誰にとっても負担、負担。

借金ばかりふくらませる大型開発はもうゴメンです。良い目をみるのはごく一部。そのしわ寄せは庶民がかぶるのでから・・・。

## 健康診査をうけましょ

命が一番大切・・・  
あなたの命、私の命・・・  
人間らしく生きることに  
こだわいませんか？  
声をあげていくことに・・・



市医師会の協力で4月から2月まで個別検診が受けられます。詳しくは保健センター(電話758-4721)へ。

申し込みは、各病・医院へ。指定病・医院の一覧表は、市役所と保健センター、各行政センターに備え付けています。①対象、②内容、③費用(七十歳以上の人は無料)。

【基本健康診査】①四十歳以上の市民②問診、血圧測定、血液検査、心電図検査など③千円

【肺がん検診】①四十歳以上の市民③五百円  
【肝炎ウイルス検診】①四十、四十五、五十、五十五、六十、六十五、七十歳や肝機能異常があるなどのハイリスク者の市民③千円  
【子宮頸(けい)がん検診】①二十歳以上の市民③千円  
【大腸がん検診】①四十歳以上の市民③五百円

迅速(Speedy)に、市民の笑顔(Smile)があふれるように、満足(Satisfaction)度が高くなるように行政全般を見直す(Research)作戦。この川西市のSR作戦、意にかなっていますか？

それとは別に、国の税制改正(改悪です!!!)で個人市民税の均等割が500円値上げの3000円に。県民税と合わせると4000円になります。2921万円の市民負担増。年金課税の見直し、老年者控除の廃止、配偶者特別控除の廃止など数億円の増税になっていきます。(それなのに「先物取引」をするような方には減税なんですよ)

年1回は健康診査を

## 主張

### ●消費税15年

一九八九年四月に消費税が3%の税率で導入されて十五年、九七年の5%への増税から七年になります。政府・与党は、社会保障の財源をまかなうには消費税の導入・増税以外にないと説明してきました。

今また、「二〇〇七年度までに二ケタ税率を合言葉に、財界や政府、自民・公明の与党が、社会保障の財源を確保するには消費税の増税しかない」と宣伝を強めています。そんな口実が成り立たないことは十五年の現実が証明しています。

**法人減税のみこむ**  
導入以来、十五年間の累計で消費税収は百三十六兆円に上ります。同じ時期に、法人税・法人住民税・法人事業税の法人三税は百三十一兆円も減りました。財界の要求に従って消費税導入・増税と一体で大企業向け減税を繰り返してきた結果です。

国民からしぼり取った消費税は福祉どころか、大企業のための減税財源にのみまかれてしまった。これが偽りのない姿です。

最近の財界提言も、消費税増税と法人減税、社会保険料の企業負担の軽減を一体で打ち出しています。「福祉のために消費税」というのは過去も現在も、財界が自らの負担を減らすために持ち出す身勝手極まりない議論にすぎません。

企業負担を減らさないと企業が外国に逃げるなどという財界の言い分は何の根拠もないことは、政府税調も次のように認めてきました。「(税制と比べ)はるかに重要な要因として、為替相場の動向のほか、賃金や土地・建物の賃借料等の水準の格差、さらには進出先の市場の状況などが挙げられる」

そもそも、日本企業の税金と社会保険料の負担は、ヨーロッパ諸国の

五割から八割の水準にとどまっているのが実態です。

社会保険料については、日本経団連自身が昨年の税制意見で、「ヨーロッパ諸国に比べてわが国の社会保険費事業主負担が低い」と認めています。税金も、ほかに例がない各種引当金や準備金などの恩恵で、日本

### 「福祉のため」の虚構くつきり

の大企業は米国や英国よりも低い負担で甘やかされてきました。

消費税に頼らなくても、ムダな道路の自動製造装置となっている道路特定財源を一般財源化するなど、税金の使い道を改めれば当面の社会保障予算を確保することができます。大企業に、せめて欧州並みの負担を

求める改革をすすめるば、将来の高齢社会を支える財源を生み出すことは十分可能です。

こうした国民本位の選択肢を財界本位の理屈で強引に排除して、庶民に負担増を押し付けるやり方には道理のかけらもありません。

### 大企業優先の転換を

消費税導入以来の十五年で、財政が大きくゆがめられてきたことは重大です。下に重く上に軽い極めて不公平な消費税の比重がますます高くなる一方、大企業と高額所得者の税金はほとんど減らされてきました。

負担する力の大きいものがより多く負担するという税制の民主主義を踏みにじり、「強きを助け弱きをくじく」不正を急激に上げた十五年です。これこそ、福祉を土台から破壊する暴挙というほかありません。こんな消費税の大幅増税は、くら

消費税が福祉に使われなくて、法人税の減税に使われていること

年金の積み立て基金が147兆円もあって、掛け金あげなくても

大丈夫なこと、

ぜひ、新聞「赤旗」ごらん下さい。庶民の目線でかかれています。

1ヶ月2900円(日刊紙)800円(日曜版)申し込みは

黒田みちまで・・・TEL&FAX 790-3055



要求懇談会で  
大沢たつみ参議院議員と・・・

## 日本共産党 演説会

4月18日(日)午後6時より  
三田市民会館  
大ホール

お気軽に  
ご参加下さい



弁士

大沢 たつみ 参院議員(選挙区)

# 志位 和夫 委員長 が お話しします

